

令和4年度の県外向け復興情報発信（ポスター・動画）について

【要旨】

県は、東日本大震災津波の記憶と教訓の伝承や復興への継続的な支援につなげるため、「いわて・三陸から ありがとう！」をテーマとしたポスター（4種類）及び動画（2種類）を下記のとおり制作し、首都圏等で展開します。

1 ねらい


東日本大震災津波から12回目となる3月11日を迎えるにあたり、多くの支援によって未来へと歩みを進めるいわて・三陸地域の姿を通じ、これまでの復興支援に対する感謝を発信するとともに、今後の復興への継続的な支援を期待するもの。

2 ポスターの概要

	「宮古（宮古うみねこ丸）」編	「大槌（県立大槌高校復興研究会）」編	「釜石（かまいし DMC 小松野麻実）」編	「大船渡（キャッセン大船渡）」編
内容	クラウドファンディング等により運航を再スタートした遊覧船の姿を通じ、県内外からの支援への感謝を発信。（宮古市）	震災後から地域の様子を定点観測し続けている生徒たちの姿を通じ、震災の記憶と教訓の伝承の大切さを発信。（大槌町）	マリンスポーツのガイドを行いながら地元を盛り上げている若者の姿を通じ、岩手の新たな魅力を発信。（釜石市）	新たな賑わいを創出し復興をリードしてきた商業施設の姿を通じ、復興の歩みを進める岩手を発信。（大船渡市）
題材	宮古うみねこ丸：スタッフの皆さん	県立大槌高校：復興研究会の皆さん	かまいし DMC：小松野 麻実さん	キャッセン大船渡：商店主の皆さん
デザイン				

### 3 動画の概要

「いわて☆はまらいん特使」である村上弘明氏が、ポスターに登場する方や地元の方と共演した、いわて・三陸の魅力を伝える復興ミニドラマ

	「宮古・大槌」編（約7分）	「釜石・大船渡」編（約8分）
題材	宮古うみねこ丸、宮古市魚菜市场、三陸鉄道、県立大槌高校復興研究会 ほか	根浜シーサイド（かまいしDMC）、キャッセン大船渡 ほか
デザイン		

### 4 今後の展開方法等

#### (1) ネット上での公開

2月15日（水）から、特設サイト「いわてとあなたが、つながるページ」でポスター及び動画、YouTubeの「岩手県公式動画チャンネル」で動画を公開。

#### (2) 駅での「デジタルサイネージ」の掲出

3月6日（月）から3月12日（日）まで、ポスター及びショート動画を都内4駅5か所（東京駅2か所、秋葉原駅、恵比寿駅、赤羽駅）で掲出。

#### (3) 「都営地下鉄中吊り広告」の掲出

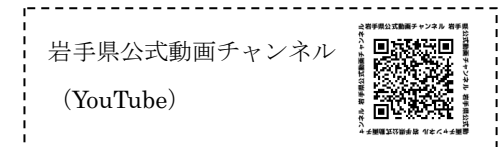
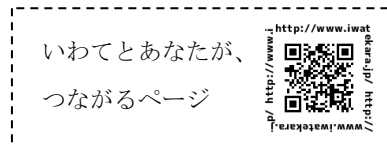
3月6日（月）から3月19日（日）まで、ポスター（B3判横）を都営地下鉄全線の車内に掲出。

※ 東京都による被災地支援として、無償で12年間継続実施。

#### (4) 「岩手県復興ポスター展」の開催 ※ 別紙参照

2月20日（月）から3月13日（月）まで、県内外の自治体や企業等28団体、235か所でポスターの展示を実施。

※ 団体及び箇所数は、2月1日時点の見込み。実施期間は、団体によって異なる。



【問い合わせ：広聴広報課 千葉・高橋（019-629-5283）】

## 令和4年度「岩手県復興ポスター展」の開催について

東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、復興の取組を発信することを目的に、復興関連ポスターを展示する「岩手県復興ポスター展」を県内外で開催します。

### 1 期間

2月20日(月)から3月13日(月)まで

※ 会場によって異なる。

### 2 会場 (28 団体・235 か所)

#### (1) 県外 (8 団体 31 か所)

自治体や県と包括連携協定を結ぶ企業 など

#### (2) 県内 (20 団体 204 か所)

県や市町村、県と包括連携協定を結ぶ企業 など

※ 団体・箇所数は、2月1日(水)現在の見込み。

※ ポスター現物の展示に加え、一部の会場では、本県の復興に関する冊子の配架やデジタルサイネージによる掲出を予定。

### 3 掲示するポスター

令和2年度以降に制作したポスター24種類 (B2縦 12種類、B3横 12種類)の中から、各会場の状況に応じて展示。

### 4 参考

(1) 岩手県復興ポスター展は平成26年度から開催。

(2) 昨年度は、計51団体、508か所(県外21団体、193か所/県内30団体、315か所)で実施。



過去のポスター展の様子(県庁県民室、盛岡駅南北連絡通路)